

# 2日間でのべ2700人が参加 京都で学んだ宝物を胸に

全国の皆さん  
2日間  
お疲れさまでした



## 「人間らしく働き生きるために」 ―派遣・パート・非正規―

「貧困と格差」を考えたときに、一番大きな問題として、非正規雇用問題とどう対峙していくのか、という問題意識で設定された分科会で、60人以上の参加がありました。助言者には、龍谷大学の脇田先生を迎え、講演していただきました。その内容は、日本の非正規労働が世界から見たら大変異常であること、世界では「同一労働同一賃金」原則が当然であることや「有期労働」を原則禁止していることなど、派遣法の異常性ともにあらためて深く理解することができました。また、韓国の運動にも触れ、逆に今「ピンチはチャンス」の情勢であり、

労働組合の役割や期待が語られました。報告では、大阪自治労連関連評議会のとりくみや枚方非常勤裁判の報告、公契約リビングウェイ運動を進める京都懇談会のとりくみ、大阪労連パート非常勤部会から最賃とパート労働法の活用への報告があり、発言でも、東京目黒区や沖縄、埼玉での自治体非正規雇用労働者のたまたかいや三重での合併に伴う宿泊施設労働者の組織化のたまたかいなど、各地での経験が交流されました。ILOへの要請団の話も含め、国際的視野で、現場からたたかう事の大切さを共有しました。

### 第10分科会



### 分科会 Photo



### 編集後記

第9回地方自治研究全国集会に参加されたみなさん、お疲れさまでした。速報『くらまてんぐ』編集委員会は、臨場感ある全国自治研の内容をお伝えしようと努めました。速報づくりは深夜に及ぶ作業でしたが、若いスタッフの頑張りで、何とか4号を発行することができました。みなさん、“杉作”に負けないよう勉強に励みましよう!



京の四季⑧  
気高く美しい冬の海  
間人(たいざ)

# 冬

### 速報『くらまてんぐ』 スタッフ

- 京都自治労連  
西山 英利 / 大西 智也
- 京都府職労 石渡 牧子
- 京都市職労 金田 伸太郎
- 関西共同印刷所 細川 幸次
- かんきょうムーブ  
山梶 修平 / 町田 三美  
國本 園子 (イラスト)



### 第14分科会

## 「住民と働くものの健康づくり」



第14分科会は、40人が参加。最初に、分科会運営責任者で保健師の吉田さんが、「地域での健康づくりには『地域丸ごと』の視点でいかにとりくむかが公衆衛生部門に課せられた大きな課題。4月から始まった『特定健診』、『特定保健指導』や労働者の労働環境、市区町村の健康づくりなどを参加者それぞれの立場で大いに発言し、討論しようと呼びかけました。

この後、助言者の方からは、西成あいらん地区や中国残留邦人を例に出して現在の格差の拡大が生み出す健康の格差の報告が、また、労働安全衛生に長年かかわった元民間

労働組委員長からは、労働者に対する健康調査の有効性について報告されました。健康調査については、そのとりくみの内容が先進的かつ刺激的であったことから、資料をぜひ送ってほしいとの要望がたくさん寄せられました。

午後のレポート報告では、特定健診、特定保健指導と歯周病検診の問題点について、どちらも自治体アンケートによって明らかにされるなど、具体的な報告がされました。

特定健診、特定保健指導については、4月、5月、6月頃の現場の混乱がようやくおさまったとの発言もあり、これからのたたかいかの本番との感じを受けた分科会でした。